

# BIMアドイン型ソフト「COST-CLIP」開発

積算ソフト「HEAIOΣ（ヘリオス）」を展開する日積サーベイ（大阪市中央区、生島宣幸社長）は、BIMデータを使って簡易に概算が集計できるソフト「COST-CLIP」を開発した。BIMソフトで動作するアドインシステム。数量集計や明細出力などを瞬時に表示でき、リアルタイムで概算コストが把握できる。基本計画段階などでの利用を想定。19日にオンラインで開催するHEAIOΣの最新版説明会で詳細を紹介する。年明けにも提供を開始する。

## 日積サーベイ

「COST-CLIP」は、HEAIOΣの集計機能・明細機能を組み込んだアドインシステムで、オートデスクの「Revit」とグラフィックソフトの「Archicad」に対応している。利用中のBIMソフト上に、▽積算実行▽帳票出力▽明細集計▽明細出力などのメニューが追加され、これらをクリックするとリアルタイムで概算コストを把握できる。集計したデータと連動して見積書を作成できる。新たなシステムを習得

する必要がなく、導入後すぐに利用できる。

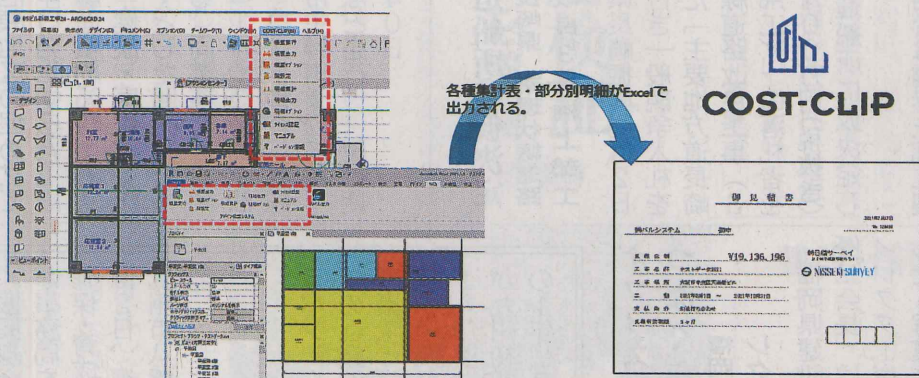
初弾は内外装版を用意した。内装数量（床・幅木・壁・天井・廻縁）や間仕切り数量、外装数量（外壁・屋根）、建具が対象となる。見積書の単価はエクセルで管理して、「COST-CLIP」に読み込む。

利用者はゼネコンや設計事務所を想定。設計の初期段階で、概算コストを把握しやすくなることで、積算業務の効率化や業務時間の削減につながる。施主との調整への応答も迅速化が図れるとみている。

日積サーベイは、テストバージョンをパイロットユーザーに利用してもらい、操作性

## 瞬時に数量集計、明細出力 設計初期段階で概算コスト把握

19日説明会  
年明けにも提供



「COST-CLIP」のイメージ（日積サーベイ提供）

や改善事項などを反映。年明けの正式リリースにつながる。来年以降もユーザーのニーズや意見を踏まえ機能拡張も検討する。

最新版となる「HEAIOΣ2022」は、2D図面を用いた積算により「イメージ計測機能」を大幅に改良した点が特徴。配置積算機能の操

### 生島淳平リーダーに聞く



「HEAIOΣを利用したBIM連携積算は2011年にスタートした。実施設計フェーズに対応しており、多くのユーザーに利用いただいている。一方で、現在は設計段階でのコストコントロールの要望が拡大しており、設計初期段階からコストを把握できる機能に関する問い合わせが増えていた。ニーズの高まりを踏まえ、20年から新たな概算システムを開発してきた。

初弾は最も手間がかかる内外装を対象にした。パイロットユーザーに貸し出して、現場の意見を反映して仕上げる。当社として初めての試みだ。今後も多くの方に利用いただき、さまざまな意見をいただけたらありがたい。

常にアップデータしていく予定で、多くのユーザーがコストマネジメントの効率化を図れるようなツールに育てたい。

### コスト管理効率化のツールに

日積サーベイ東京オフィスBIMソリューション部でCOST-CLIPを担当する生島淳平リーダーに狙いを聞いた。

作性向上や、躯体関連の明細自動計上項目の拡張を図るとともに、名称・摘要欄などの同義語を一括で統一語に変換する機能も搭載した。説明会は最新機能を含め全28項目を<http://www.val-system.co.jp/>に掲載している。

紹介する。

最新版説明会は19日午後2時～4時にオンラインで開く。参加無料。見逃し配信にも対応する。申し込みは販売を担当する関連会社のバル・システム（大阪市中央区、生島社長）が受け付けている。詳細はバル・システムのホームページ（<http://www.val-system.co.jp/>）に掲載している。